

事業者向け

放課後等デイサービスQUILL自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善点・説明
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースの関係で適切であるか	○			指定基準のスペースは指導訓練室等十分確保できています。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			職員の配置は指定人員基準以上の配置をしています。
	3	事業所の設備等についてバリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			玄関に段差はあるが、その他はバリアフリー化出来ています。また、現在の利用者に支障はありません。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に広く職員が参画しているか	○			業務前後のミーティングやご利用者の定期的なカンファレンスを行い、職員全員が把握できるように取り組んでいます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			昨年に続き保護者アンケートを実施している。可能な限り業務改善につなげる努力をしています。
	6	この自己評価の結果を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページに公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		第三者委員会設置は出来ていません。評価結果は、出来ることから早急に業務改善を行っています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			強度行動援護や発達支援コーチ・運動保育士など内部研修や外部研修を積極的に進めています。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			支援計画をもとに児童の状況を話し合い保護者の確認をとって進めています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		現在は運動能力的なもので確定したものはありませんが、独自のアセスメントツールを作成できるように取り組んでいます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			行えています。
	12	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	○			狙った効果を最大限に引き出せるプログラムを考えています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか	○			特に楽しみを増やしてモチベーションをあげられるように取り組んでいます。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			必要な児童にはホームエクササイズを通して個別に行えるものを指導しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎回開催しています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援を振り返り、気づいた点を共有しているか		○		できていない日もあります。その時は課題や問題点を翌日に残せるようにしています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			できています。簡潔にわかりやすい方法を作成中です
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			基本的に半年に一度行っています。必要時には随時行うように取り組んでいます。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			できています。	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に、その子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			基本的に児童発達支援管理責任者が参加しています。事前に職員からの情報を得るためのカンファレンスを行っています。

関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		できている学校とそうでない学校があります。すべての学校と協力体制が取れるようにしていきたいです。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	現在のところ密に連絡体制が必要な児童がいないので、支援相談員を通しての情報収集や連絡になっていますが、今後の課題にしたいと思います。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		ご利用前のケース会議の参加など、できるだけ細かい情報収集に努めています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		今のところありませんが、そのような場合は情報提供できるようにします。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		研修を可能な限り参加しています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会はあるか		○	地域の公園などでお出かけの際に、他の児童との交流があります。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○		しています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		その日の状況を連絡帳でのやり取りや、送迎時などお会いできた時、短い時間でもお話できるように取り組んでいます。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	個別的に助言やホームエクササイズをの指導は行っていますが、ホームページなどで、当事業所の療育に関する知識を深められるものをアップしたいとお考えしています。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		事前の説明をしっかりと行っている。変更の際は、お知らせという形でご報告できている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		相談に応じて、助言やサポートを行えるように心がけています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		保護者体験会を定期的に開催していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		苦情対応マニュアル作成と、対応窓口の設定を行っています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○	ホームページのブログを通して行っています。
	35	個人情報に十分注意しているか	○		個別のファイルの管理は鍵付きのキャビネットで保管しています。職員との秘密情報についての誓約書をとっております。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		これからも言葉での伝達がむづかしいお子様について、言葉カードなどのツールを増やしていきたいと思っています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	現在はありません。地域の活動への参加で補っていきたい
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		マニュアルの事業所内掲示とその周知を行っています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		年2回定期的に行っています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		年間研修計画として内部研修を行い職員周知を図っています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得たうえで、サービス計画に記載しているか		○	計画書への記載は不十分であるが、道路に飛び出すなど命にかかわる場合は抱きかかえる処置をする場合があります。

42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		現在対象となる児童はいないが、受け入れる際は対応する準備はあります。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			実際のケースをもとにファイルを作成し、職員が確認できるようにしています。

※この評価は、事業所内で職員に対して行ったアンケートについて職員全体で話し合った自己評価です。